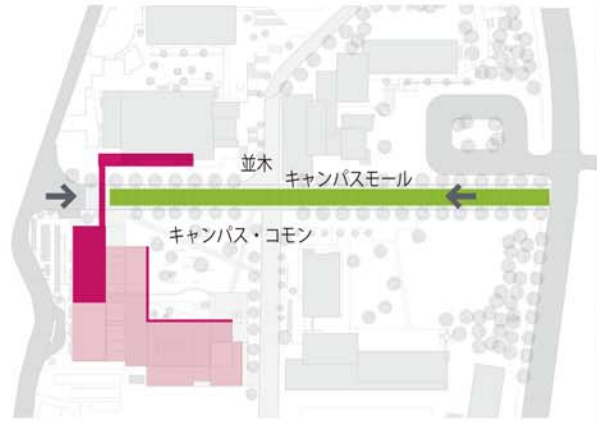


**GATE 1** 中心性とゲート性を表現する

- ・キャンパスの西玄関としてのゲート性を表現する
- ・キャンパス・モールのアイストップとして中心性を象徴する高層棟を配置する

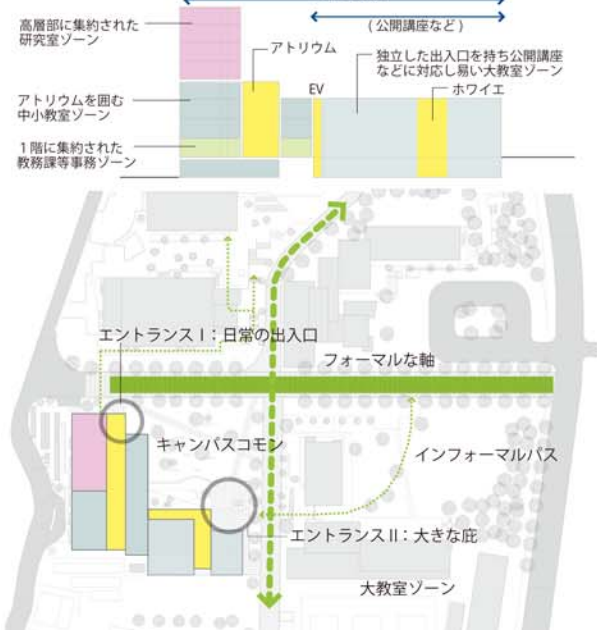


**GATE 2** スチューデントセンターの空間体験を継承

- ・スチューデントセンターの空間体験との連続性に配慮し、新しい眺望場所とテラスを加える



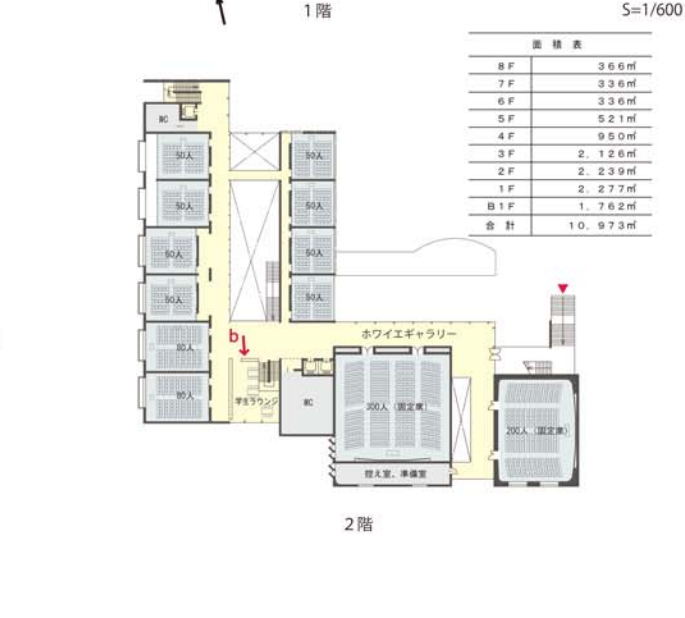
**GATE 3** 分かり易い明快なゾーニング



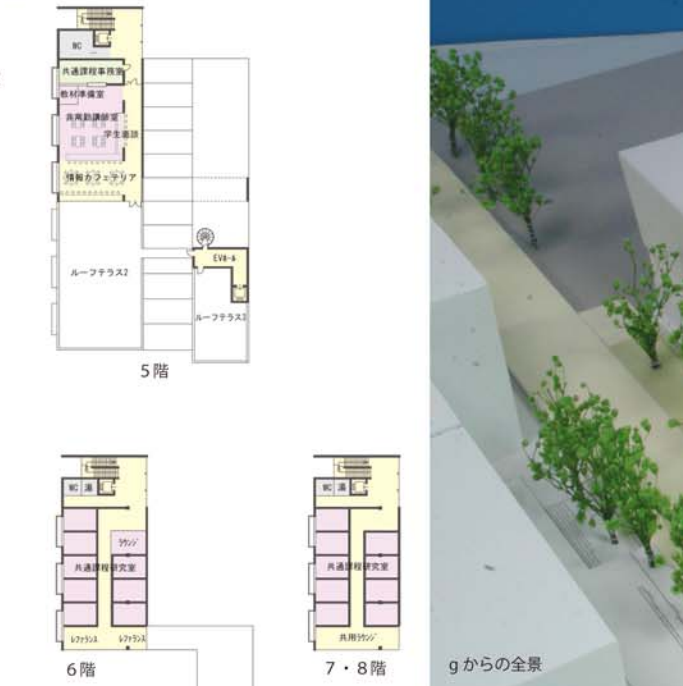
**GATE 4** 中心性を象徴するアトリウムを空間構成の要とする



aからアトリウムを見上げる



bから学生ラウンジ越しに南面の風景をのぞむ



**GATE 0** 中心の風景を創る

- ・配置の考え方  
キャンパスの中心施設である高層棟を既存建物からの眺望に配慮しつつ、キャンパスの西玄関口に配置する。高層棟は学問の府に相応しく研究者の領域とする。教室群は中心広場であるキャンパスコモンをし字に囲み、高層棟やブリッジと合わせてゲート空間を形成する。  
施設の中心には、アトリウムとホワイエギャラリーを置く。アトリウム1階は事務室や就職情報コーナーなど、2階以上は教室群に囲まれる。眺望の良い南側には階段と学生ギャラリーを置く。大教室は市民への開放（公開講座など）に配慮し、東側に半独立的に配置する。入口も独立して設ける。大教室棟の中心となるパブリックスペースがホワイエギャラリーであり、サンクンコートを間に介させキャンパスコモンに相対する。
- ・人をやさしく包み、迎え入れる大きな庇  
学生、教職員、市民など多くの人が集まる中心施設として、やさしく人を迎え入れる形態を基本モチーフとして外観を形成する。

